

令和3年度

仙台市立病院 医師臨床研修プログラム

研修医氏名

職員番号

研修期間 3年4月1日～ 年 月 日

令和3年4月
仙台市立病院

《 目 次 》

1	研修プログラムの名称.....	1
2	研修プログラムの目標.....	1
3	研修プログラムの特徴.....	1
4	研修開始年月日.....	1
5	仙台市立病院の概要と指導医.....	1
	(1) 本院施設について.....	1
	(2) 研修管理委員・指導医一覧 (平成31年4月1日現在).....	3
6	諸学会認定研修教育施設.....	7
7	プログラム管理体制.....	8
	(1) 研修管理委員会.....	8
	(2) プログラム責任者.....	9
	(3) 指導医.....	9
	(4) 研修医の勤務規定, 処罰規定.....	9
	(5) 研修医の採用方法.....	10
	(6) 研修プログラム自体の自己評価と改善体制.....	10
	(7) 研修医よりのフィードバック.....	11
	(8) 臨床研修の継続が困難な研修医に対する処置.....	11
	(9) 臨床研修協力体制.....	11
8	募集定員.....	12
9	教育課程.....	13
	(1) 研修方式 (ローテーション).....	13
	(2) 研修医オリエンテーション.....	13
10	各診療科・部門別の特徴と研修内容.....	14
11	仙台市立病院の臨床研修の到達目標.....	14
12	各診療科で研修する疾患・病態.....	14
13	研修医評価.....	14
	(1) 評価基準について.....	14
	(2) 評価のあり方.....	14
	(3) 評価用紙.....	14
14	プログラム修了の認定.....	14
15	プログラム修了後の進路.....	15
16	研修医の処遇.....	15
17	その他.....	16
18	本プログラムの問合せ先.....	16

1 研修プログラムの名称

仙台市立病院医師臨床研修プログラム

2 研修プログラムの目標

医療の社会性・公共性を理解し、行動できる自立した臨床医になるための医療全般にわたる基本的な知識・技能・姿勢・態度を習得し、さらに、臨床医に求められる基本的な素地を確立させ、救急医療も含め幅広く対応できる臨床能力を身につけることを目標とする。

3 研修プログラムの特徴

本プログラムは、適切な指導體制の下で、各科・各部門にわたる医師として必用な基本的な姿勢・態度および救急処置の初期治療等プライマリ・ケアを中心とした医療知識・技能を身につけるための研修内容を網羅している。この研修を通じて人格の涵養に努め、心技両面よりいかなる状況にも対応可能な自立した臨床医の育成を目指す。

そして、医師が幅広い診療能力を有する臨床医となるために必要な診療科を主に研修することを目的として作成されたものである。2年目の21週間を自由選択とすることで選択の幅を持たせている。

また、2年間に及ぶ研修は、本院と救命救急センターで研修するだけでなく、精神科の研修協力病院として宮城県立精神医療センター又は国見台病院、及び地域医療の各研修協力施設で研修を実施する。

4 研修開始年月日

令和3年4月1日

5 仙台市立病院の概要と指導医

(1) 本院施設について

◎ 所在地

仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号(仙台市営地下鉄 長町一丁目駅下車徒歩3分)

◎ 沿革

本院は昭和5年2月、市民の健康保持を目的として30床で開設された。その後増築を重ね、昭和35年9月には310床の総合病院に発展し、昭和55年7月には五橋地区へと移転した。

五橋地区においては、平成3年4月に36床の病床を持つ救急センター（現在は救命救急センターに改称）を、また平成6年6月より老人性痴呆センター（現在は認知症疾患医療センターに改称）を開設した。

その後、30余年経過したことによる施設の老朽化のため、平成26年11月に現在地に新築移転した。移転に伴い、仙台市夜間休日子ども急病診療所を併設し、救命救急センターと連携して軽症から重症までの総合的な小児救急医療を提供するとともに、NICU・GCUの整備による妊産婦、胎児、新生児への総合的・専門的な周産期医療の提供、また救命救急医療や災害時医療、感染症対策等の政策的医療を拡充している。

「開かれた病院」、「患者さん中心の医療」、「意欲的な病院」を基本理念とし、人口百万の政令指定都市仙台における唯一の市立病院として市民の健康の増進と福祉の向上のため、地域の中核病院としての機能を果たし、市民が安心して生活できるよう寄与することを目指している。

◎ 本院のデータ

診療科名	内	呼吸	消化	循環	脳神内	血液	糖代	感染	外	心外	脳外	整形	形成
医師数	3	5	7	7	3	5	3	1	12	3	3	6	1
うち指導医数	2	3	4	6	1	3	2	1	8	2	1	6	1
入院患者数/日	59	-	46	37	34	-	6	-	38	8	15	42	1
外来患者数/日	87	-	79	61	20	-	48	-	77	10	30	64	14
診療科名	精神	小児	皮膚	泌尿	産婦	眼	耳鼻	放射	病理	救急	歯	麻酔	合計
医師数	7	9	2	4	11	3	3	3	2	5	2	9	119
うち指導医数	2	4	2	3	3	1	2	2	1	5	0	5	70
入院患者数/日	15	29	2	15	40	7	12	0	-	15	2	0	423
外来患者数/日	14	65	29	39	86	50	39	29	-	24	34	22	921

(医師数については令和2年4月1日、その他は令和元年度)

◎ 本院の概要

病床数は525床、診療科は25科で、その他、特殊外来を設けそれぞれの疾患、患者に対応している。

市立病院の医師数は177人（常勤119人、レジデント及び研修医その他嘱託等58人）で日常の診療・研修に当たっている（令和2年4月1日現在）。

当院は昭和57年2月に厚生省（現厚生労働省）から臨床研修病院として指定を受けて以来、これまで延べ362人を越える研修医を受け入れてきている。

24時間対応の第3次救急救命施設である救命救急センターは仙台圏の救急医療の中核としての機能を果たしており、年間14,719人もの救急患者を受け入れており、そのうち救急車搬送は7,255件（2019年4月～2020年3月）である。高度医療のみならず、救急医療をはじめとして地域医療を基盤としたプライマリ・ケアの研修が可能であり幅広く臨床研修ができる環境が整っている。

(2) 研修管理委員・指導医一覧 (令和2年4月1日現在)

氏名	所属	役職	備考
八木 哲夫	仙台市立病院	副院長(兼)診療部長 (兼)循環器内科部長 (兼)皮膚科部長(兼)歯 科口腔外科部長	研修管理委員長 指導医
藤原 幾磨	仙台市立病院	小児科部長(兼)新 生児集中治療科長	研修管理副委員長 指導医
野村 栄樹	仙台市立病院	消化器内科医長	研修管理副委員長 指導医
貝羽 義浩	仙台市立病院	医療技術部副部長 (兼)外科医長	研修管理副委員長 指導医
菅原 広実	仙台市立病院	次長(兼)経営管理 部長	研修管理委員 事務の責任者
杉本 美枝子	仙台市立病院	看護部長	研修管理委員
佐藤 浩司	仙台市立病院	内科医長	研修管理委員 指導医
八重柏 政宏	仙台市立病院	呼吸器内科部長	研修管理委員 指導医
山本 譲司	仙台市立病院	血液内科部長	研修管理委員 指導医
遠藤 薫	仙台市立病院	脳神経内科部長	研修管理委員 指導医
山田 高弘	仙台市立病院	糖尿病・ 代謝内科医長	研修管理委員 指導医
八田 益充	仙台市立病院	感染症内科部長(兼) 医療安全管理課感染 対策室長	研修管理委員 指導医
外山 秀司	仙台市立病院	心臓血管外科医長	研修管理委員 指導医
成澤 あゆみ	仙台市立病院	脳神経外科医長	研修管理委員
入江 太一	仙台市立病院	整形外科医長	研修管理委員 指導医
小坂 和弘	仙台市立病院	形成外科部長	研修管理委員 指導医
佐藤 博俊	仙台市立病院	精神科部長	研修管理委員 指導医

草刈 良之	仙台市立病院	皮膚科医長	研修管理委員 指導医
青木 大志	仙台市立病院	泌尿器科医長	研修管理委員 指導医
大槻 健郎	仙台市立病院	産婦人科医長	研修管理委員 指導医
桑原 創一郎	仙台市立病院	眼科部長	研修管理委員 指導医
小倉 正樹	仙台市立病院	耳鼻いんこう科部長	研修管理委員 指導医
津田 雅視	仙台市立病院	放射線科部長	研修管理委員 指導医
渋谷 里絵	仙台市立病院	病理診断科長	研修管理委員 指導医
安藤 幸吉	仙台市立病院	麻酔科部長(兼)手術セ ンター科長(兼)救命救 急センター副センター 長(兼)集中治療科長	研修管理委員 指導医
近田 祐介	仙台市立病院	救急科医長	研修管理委員 指導医
鈴木 亨	仙台市立病院	経営管理部参事(兼) 総務課長	研修管理委員
亀山 元信	仙台市立病院	事業管理者	研修管理委員会 オブザーバー 指導医
奥田 光崇	仙台市立病院	院長	研修管理委員会 オブザーバー 指導医
鈴木 翔輝	仙台市立病院	外科レジデント	研修管理委員会 オブザーバー
角藤 芳久	宮城県精神医療 センター	院長	研修管理委員 研修実施責任者
岩館 敏晴	国見台病院	院長	研修管理委員 研修実施責任者
峯岸 正好	宮城県赤十字 血液センター	所長	研修管理委員 研修実施責任者
本郷 道夫	公立黒川病院	管理者	研修管理委員 研修実施責任者

渋谷 大助	宮城県対がん協会 がん検診センター	所長	研修管理委員 研修実施責任者
羽二生 邦彦	羽二生クリニック	院長	研修管理委員 研修実施責任者
亀岡 祐一	光ヶ丘スペルマン 病院	緩和ケア内科医長	研修管理委員 研修実施責任者
原 敬	若林区保健福祉 センター	所長	研修管理委員 研修実施責任者
小針 雅男	イムス明理会仙台 総合病院	院長	研修管理委員 研修実施責任者
枝 幸基	あすと長町えだクリニッ ク内科消化器科	院長	研修管理委員 研修実施責任者
小田倉 弘典	土橋内科医院	院長	研修管理委員 研修実施責任者
川島 孝一郎	仙台往診クリニック	院長	研修管理委員 研修実施責任者
佐藤 隆裕	岡部医院	院長	研修管理委員 研修実施責任者
竹内 和久	宏人会木町病院	木町病院院長	研修管理委員 研修実施責任者
村越 秀行	JR仙台病院	内科部長	研修管理委員 研修実施責任者
原田 雄功	原田乳腺クリニック	院長	研修管理委員 研修実施責任者
福原 賢治	塩竈市立病院	事業管理者兼院長	研修管理委員 研修実施責任者
山室 誠	岡部医院仙台	院長	研修管理委員 研修実施責任者
大平 誠一	おおひら内科 クリニック	院長	研修管理委員 研修実施責任者
宮城 妙子	M&T在宅クリニック	院長	研修管理委員 研修実施責任者
山本 多恵	仙台市立病院	内科部長	指導医
関根 祐樹	仙台市立病院	外科医長	指導医
瓶子 隆弘	仙台市立病院	外科医長	指導医
福田 かおり	仙台市立病院	外科医長	指導医
川嶋 和樹	仙台市立病院	外科医長	指導医
櫻井 遊	仙台市立病院	外科医長	指導医
佐山 淳造	仙台市立病院	外科部長	指導医

関口 悟	仙台市立病院	外科医長	指導医
芦野 有悟	仙台市立病院	呼吸器内科医長	指導医
京極 自彦	仙台市立病院	呼吸器内科医員	指導医
長崎 太	仙台市立病院	消化器内科医長	指導医
鈴木 範明	仙台市立病院	消化器内科医長	指導医
菊地 達也	仙台市立病院	消化器内科部長	指導医
青木 恒介	仙台市立病院	循環器内科医長	指導医
佐藤 英二	仙台市立病院	循環器内科医長	指導医
石田 明彦	仙台市立病院	循環器内科医長	指導医
山科 順裕	仙台市立病院	循環器内科医長	指導医
三引 義明	仙台市立病院	循環器内科医長	指導医
斎藤 陽	仙台市立病院	血液内科医長	指導医
檜尾 好徳	仙台市立病院	糖尿病・代謝内科部長	指導医
渡辺 徹雄	仙台市立病院	副院長	指導医
刈部 博	仙台市立病院	脳神経外科部長	指導医
阿部 博男	仙台市立病院	医療技術部長	指導医
猪苗代 敬	仙台市立病院	整形外科医長	指導医
野口 森幸	仙台市立病院	整形外科医長	指導医
佐々木 大蔵	仙台市立病院	整形外科医長	指導医
佐野 博高	仙台市立病院	リハビリテーション科部長	指導医
滑川 明男	仙台市立病院	精神科医長	指導医
島 彦仁	仙台市立病院	小児科医長	指導医
北村 太郎	仙台市立病院	小児科医長	指導医
新田 恩	仙台市立病院	小児科医長	指導医
高橋 愛	仙台市立病院	皮膚科医長	指導医
大原 英一郎	仙台市立病院	泌尿器科医長	指導医
青木 大志	仙台市立病院	泌尿器科医長	指導医
早坂 篤	仙台市立病院	産婦人科医長	指導医
宇賀神 智久	仙台市立病院	産婦人科医長	指導医
嵯峨井 俊	仙台市立病院	耳鼻いんこう科医長	指導医
益田 淳朗	仙台市立病院	放射線科医長	指導医
安達 厚子	仙台市立病院	麻酔科医長	指導医
亀山 良亘	仙台市立病院	麻酔科医長	指導医
袖山 直也	仙台市立病院	麻酔科医長	指導医
櫻田 幽美子	仙台市立病院	麻酔科医長	指導医
村田 祐二	仙台市立病院	副院長	指導医
山内 聡	仙台市立病院	救命救急センター長	指導医

高瀬 啓至	仙台市立病院	救急科医長	指導医
船越 俊一	宮城県立精神医療センター	副院長	指導医
大野 高志	宮城県立精神医療センター	医療局長	指導医
上田 一気	宮城県立精神医療センター	主任医長	指導医
進藤 克博	国見台病院	副院長	指導医
原田 伸彦	国見台病院	副院長	指導医
川島 久佳	仙台往診クリニック	医師	指導医
佐々木 潔子	仙台往診クリニック	医師	指導医
松尾 英史	公立黒川病院	健診室長	指導医
殿塚 規雄	公立黒川病院	内視鏡室長	指導医
大槻 修一	公立黒川病院	副病院長	指導医
安田 幸治	宏人会木町病院	外科医長	指導医
松井 邦昭	JR 仙台病院	医師	指導医
村越 秀行	JR 仙台病院	部長	指導医
安倍 修	JR 仙台病院	部長	指導医
福原 賢治	塩竈市立病院	事業管理者	指導医
横山 忠明	塩竈市立病院	部長	指導医
山田 美樹	塩竈市立病院	部長	指導医
関川 明宏	塩竈市立病院	部長	指導医
高野 信夫	塩竈市立病院	部長	指導医
武田 篤	仙台西多賀病院	院長	指導医
高橋 俊明	仙台西多賀病院	神経内科部長	指導医
一戸 明子	仙台西多賀病院	小児科	指導医
中川 國利	宮城県赤十字血液センター	所長	指導医
堀之内 節	M&T 在宅クリニック	理事長	指導医

6 諸学会認定研修教育施設

日本内科学会認定内科医専門医教育病院	昭和44年
日本麻酔学会認定病院	昭和55年
日本外科学会認定医制度修練施設	昭和56年
日本病院会優良自動化検診施設	昭和57年
日本整形外科学会認定医制度研修施設	昭和58年
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	昭和59年
日本病理学会登録施設	昭和59年
日本救急医学会専門医教育施設	昭和60年

日本泌尿器科学会専門医教育施設	昭和61年
日本眼科学会専門医制度研修施設	昭和62年
日本産科婦人科学会認定医制度卒後研修指導施設	昭和62年
日本脳神経外科学会専門医訓練施設	昭和63年
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	平成1年
日本ペインクリニック学会指定研修施設	平成2年
日本小児科学科認定医制度研修施設	平成2年
臨床管理栄養士初任者研修指定病院	平成3年
日本腎臓学会研修施設	平成3年
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	平成4年
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関	平成4年
日本糖尿病学会認定教育病院	平成5年
日本超音波学会認定超音波専門医研修施設	平成6年
日本血液学会認定医研修施設	平成9年
日本神経学会認定医制度教育関連施設	平成9年
日本消化器内視鏡学会認定専門医制度指導施設	平成9年
日本総合健診医学会認定優良総合健診施設	平成11年
日本透析医学会認定医制度認定施設	平成11年
日本病理学会認定病院	平成11年
日本老年精神医学会専門医制度認定施設	平成12年
日本消化器病学会認定施設	平成13年
日本乳癌学会認定施設	平成13年
日本肝臓学会認定施設	平成17年
日本脳卒中学会認定研修教育病院	平成17年
日本精神神経学会専門医制度認定研修施設	平成18年
日本小児神経学会専門医制度認定研修施設	平成18年
日本呼吸器学会関連施設	平成18年
日本肝臓学会関連施設	平成20年
日本がん治療認定医機構認定研修施設	平成20年
日本高血圧学会専門医認定施設	平成24年
日本脈管学会認定研修指定施設	平成25年
日本肝臓学会認定施設	平成25年
心臓血管外科専門医認定関連施設	平成27年
日本集中治療医学会専門医研修施設	平成27年

7 プログラム管理体制

(1) 研修管理委員会

(研修責任者(研修管理委員会委員長): 副院長兼診療部長兼循環器内科部長
八木 哲夫)

開催回数：年2回程度，必要に応じて開催する。

- 機能
- ① 本院の臨床研修についての総合的な企画及び調整を行う。
 - ② 臨床研修を受ける研修医の募集及び選考を行う。
 - ③ 臨床研修の進捗状況の把握等，研修医の管理を行う。
 - ④ プログラム責任者および指導医らの報告と，各委員会で定めた研修目標の達成状況等に基づいて研修医の評価を行い，研修の修了認定を行う。
 - ⑤ その他本院の臨床研修全般に関することを行う。

- 委員構成
- ① プログラムのローテーションに参加する診療科の代表者
 - ② 病院の事務部門の責任者
 - ③ 臨床研修協力病院及び施設の責任者
- ※事務局は総務課職員係に置かれる。

(2) プログラム責任者

令和2年度 仙台市立病院医師臨床研修プログラム

◎ 副院長兼診療部長兼循環器内科部長 八木 哲夫

① 業務

人事：研修医の人事，評価，記録，指導医の評価と記録

業務：研修医のプログラム管理，指導，面接，院内カンファランス，研修資料と研修機材の管理，指導医研修など研修医の目標到達状況を適宜把握し，研修医が修了時までには到達目標を達成できるよう調整を行うとともに，研修管理委員会にてその状況を報告する。

開発：カリキュラムの作成と改良など

② 運営方法

ローテートする診療科の代表者及び指導医と協力して運営を行う。

(3) 指導医

指導医は，担当する診療科での研修期間中，個々の研修医の指導を担当し，研修医の診療行為に責任を持ち，適宜目標到達状況を把握すること。

指導医は，研修医を指導する。

(4) 研修医の勤務規定，処罰規定

研修医の勤務規定は，別記定める当院の診療規定，服務規程に準じる。これらに照らして著しく言動に問題のある場合は，研修管理委員会の検討を経て，院内服務規程に準じて処罰される。

また，研修医は，アルバイト診療を行ってはいけない。研修プログラムに基づかない施設での診療を行うことも同様である。

(5) 研修医の採用方法

① 採用方法

研修医は、毎年公募により小論文及び面接試験を行い、その結果をもとに採用を行う。
本院は、医師臨床研修マッチング協議会が実施するマッチングシステムを利用して採用の選考を行う。

② 令和3年度初期臨床研修希望者採用スケジュール

◎**募集期間**：令和2年7月1日～令和2年8月31日予定
仙台市立病院総務課職員係まで郵送すること。

◎**応募資格**：令和3年春医師免許取得見込みで、医師臨床研修マッチングに参加する者。

◎**必要書類**：下記の申込書及び履歴書に自筆で記入のこと。
「臨床研修申込書」(様式1)
「履歴書」(様式2)
「卒業見込証明書」

◎**試験日程**：日時 次のうちいずれか一日の予定
令和2年8月 1日
令和2年8月22日
令和2年9月13日
内容 面接、小論文試験

◎**採用決定**：医師臨床研修マッチング協議会が実施するマッチングプログラムに参加しており、当該システムにより決定される。

研修決定者については採用通知書(様式4)を送付するので、同封されている臨床研修誓約書(様式5)に自筆で記入し提出すること。

なお、採用枠で空きが出た場合、適宜補充を行う。その方法は別途通知を行う。

◎**採用要件**：採用決定者については、直前に健康診断(様式6)を受診し研修に問題がないことを要する。

また、医籍登録済証明書の写しの提出を要する。

(採用後、医師免許を交付されたら速やかにその写しの提出を要する。)

その他、採用の要件については、本市職員採用条件の例による。

(6) 研修プログラム自体の自己評価と改善体制

研修管理委員会では、研修医の研修成果や研修医・指導医の意見をふまえ、研修プログラム自体の評価を行い、修正可能な点は修正する。また、大きなシステムに関わる問題は、関係各部署と協議の上改善する。

(7) 研修医からのフィードバック

研修医は、研修管理委員と定期的に面談し、研修プログラムの進行状況や指導医に対する意見を述べるができる。研修管理委員会は、できるだけ研修医の要望を実現できるよう配慮する。

(8) 臨床研修の継続が困難な研修医に対する処置

① 臨床研修を中断する場合

身体的・社会的・経済的な理由などにより、臨床研修の遂行が困難な状態に陥った場合は、研修管理委員会および研修責任者は、研修医個人の処置を勘案し、適切な対応を行う。

研修医が研修を中断する場合は、臨床研修中断申請書（様式7）を研修管理委員会に提出することを要する。それに対して、研修管理委員会は臨床研修中断証（平成15年6月12日付医政発第0612004厚生労働省医政局長通知に規定）を交付する。

② 臨床研修を中断したものが臨床研修を再開する場合

臨床研修を中断した者は、臨床研修病院に、臨床研修中断証を添えて、臨床研修の再開を申し込むことができる。本院で再開する場合は、臨床研修再開申請書（様式8）を研修管理委員会に提出を要する。

研修管理委員会において再開を認めた場合、臨床研修再開通知書（様式9）を送付し、研修を再開させる。

(9) 臨床研修協力体制

① 臨床研修協力病院

<精神科>

◎ 宮城県立精神医療センター（名取市手倉田字山無番地）

研修実施責任者 院長 角 藤 芳 久

◎ 一般財団法人みやぎ静心会 国見台病院（仙台市青葉区国見1丁目15-22）

研修実施責任者 院長 岩 舘 敏 晴

② 臨床研修協力施設

<地域医療>

◎ 医療法人社団公愛会 羽二生クリニック（仙台市青葉区柏木2-2-14）

研修実施責任者 院長 羽二生 邦 彦

◎ 一般財団法人光ヶ丘愛世会 光ヶ丘スペルマン病院

（仙台市宮城野区東仙台6-7-1）

研修実施責任者 ホスピス長 亀 岡 祐 一

◎ 公益社団法人地域医療振興協会 公立黒川病院（黒川郡大和町吉岡字西桜木60）

研修実施責任者 管理者 本 郷 道 夫

◎ 医療法人財団明理会 イムス明理会仙台総合病院（仙台市青葉区中央4丁目5-1）

研修実施責任者 院長 小 針 雅 男

- ◎ あすと長町えだクリニック内科消化器科(仙台市太白区あすと長町3-3-33)
研修実施責任者 院長 枝 幸 基
- ◎ 医療法人 土橋内科医院 (仙台市青葉区八幡2-11-8)
研修実施責任者 院長 小田倉 弘 典
- ◎ 仙台往診クリニック (仙台市青葉区花京院2-1-7-3F)
研修実施責任者 院長 川 島 孝一郎
- ◎ 医療法人社団爽秋会 岡部医院 (名取市植松1-1-24)
研修実施責任者 院長 佐 藤 隆 裕
- ◎ 医療法人社団爽秋会 岡部医院仙台 (仙台市青葉区柏木2-4-76-106)
研修実施責任者 院長 山 室 誠
- ◎ 医療法人宏人会 木町病院 (仙台市青葉区木町通1-7-13)
研修実施責任者 院長 竹 内 和 久
- ◎ 東日本旅客鉄道株式会社 JR 仙台病院 (仙台市青葉区五橋1-1-5)
研修実施責任者 内科部長 村 越 秀 行
- ◎ 原田乳腺クリニック (名取市手倉田字八幡423-1)
研修実施責任者 院長 原 田 雄 功
- ◎ 塩竈市立病院 (宮城県塩竈市香津町7-1)
研修実施責任者 事業管理者兼院長 福 原 賢 治
- ◎ M&T在宅クリニック (仙台市若林区舟丁3-2)
研修実施責任者 院長 宮 城 妙 子

<保険・医療行政>

- ◎ 日本赤十字社 宮城県赤十字血液センター (仙台市泉区明通二丁目6-1)
研修実施責任者 部長 峯 岸 正 好
- ◎ 公益財団法人宮城県対がん協会がん検診センター
(仙台市青葉区上杉五丁目7-30)
研修実施責任者 所長 渋 谷 大 助
- ◎ 若林区保健福祉センター (仙台市若林区保春院前丁3-1)
研修実施責任者 所長 林 敬

8 募集定員

研修1年目 17名／研修2年目 17名

(ただし、原則として研修医2年目の公募は行わない。)

9 教育課程

(1) 研修方式（ローテーション）

研修を行う診療科，研修期間については以下のように定める。

① 基本研修科目

必修となる研修内容を達成するための研修であって，基本研修期間として，104週の研修期間中の77週を充てる。

- 内科系 31週（内4週は一般外来研修）
（内科，循環器内科，消化器内科，脳神経内科，糖尿病・代謝内科）
- 外科 8週
- 救急部門 12週※

※休日直業務を月1回，2年間で約20日を救急4週分とするため，救急部門はローテーションの12週分と日直4週分で計16週分を研修する。

- 麻酔科 8週
- 小児科 8週
- 産婦人科 4週
- 精神科 4週
（当院で2週間，宮城県立精神医療センター又は国見台病院で2週間の合計4週間研修）
- 地域医療 4週
（各研修協力施設で合計4週間研修）
- 選択科目 23週（夏期休暇等を除いた週数）

③ ローテーション表

仙台市立病院医師臨床研修プログラム

【1年目】 順不同 ※一部，2年目上期にかけての研修となる。

31週	8週	8週	8週
内科系診療科（一般外来研修を含む）	外科	麻酔科	小児科

【2年目】 順不同

10週	4週	4週	4週	23週
救急*	地域医療	産婦人科	精神科	選択科目

救急*：12週分のローテーションに加え，休日直業務を月1回，2年間で約20日を救急4週分とする。

上記の予定には採用時オリエンテーション，夏期休暇等は含まれない。（選択科目内で調整する）

(2) 研修医オリエンテーション

ローテーション開始後の1週間はオリエンテーションを行い，研修の導入を行う。

① オリエンテーションの目的

効果的な臨床研修を円滑に開始するために，医療人として必要な基本姿勢・態度及び研修中に経験すべき診察法，検査，手技の概要を学ぶ。

- ② オリエンテーションのカリキュラム
別に実施要領を定める。

1 0 各診療科・部門別の特徴と研修内容

【別紙 ①】のとおり

1 1 仙台市立病院の臨床研修の到達目標

【別紙 ②】のとおり

1 2 各診療科で研修する疾患・病態

【別紙 ③】のとおり

1 3 研修医評価

臨床研修評価表（様式10-1・2・3）に従い、指導医は評価を実施する。また、指導医は、病棟師長の意見も加え研修医の評価を行い、評価結果を研修管理委員会に提出する。研修医評価項目には、医師としての基本的価値観、医学・医療における倫理性、医学知識と問題解決能力、診療技能と患者ケア、コミュニケーション能力、チーム医療の実践、医療の質と安全管理等である。

研修管理委員会では、研修医の自己評価、指導医の研修医評価、研修医の指導医評価が集計・報告される。同委員会では、研修医個人の目標到達度と課題が討議され、その内容は、同委員会による研修医個人面接の場で本人に伝える。

(1) 評価基準について

研修管理委員会は、国の定める「卒後臨床研修の目標」に基づいて、研修医の研修終了の評価を行う。

(2) 評価のあり方

評価については、研修管理委員会において行う。評価は総合的に行う。

(3) 評価用紙

研修医評価表及び臨床研修の目標の達成度判定票（様式10-4）を使用する。

1 4 プログラム修了の認定

2年間の規定プログラムを修了した者については、上記の研修医評価・臨床研修の目標の達成度判定票を踏まえて、当初の到達目標に至ったか否かを研修管理委員会で討議し、最終的な修了認定を行う。

臨床研修の到達目標に達したと認められる研修医に対しては、臨床研修修了証（平成15年6月12日付医政発第0612004厚生労働省医政局長通知に規定）を授与する。

臨床研修修了証は院長及び研修管理委員会委員長連名で発行・授与される。

15 プログラム修了後の進路

2年間の臨床研修プログラムを修了したものについて、3年目以降の進路については個人の自主性に任せる。後期研修医（レジデント）として当院で研修を継続する場合、その手続きの詳細は、担当科及び研修管理委員会で別途協議を行う。

16 研修医の処遇

(1) 給与

研修医の身分による給与が要綱で定める規定により支給される。

- | | |
|------|-------------------|
| ① 身分 | 会計年度任用職員 |
| ② 報酬 | 一年次 基本月額 203,700円 |
| | 二年次 基本月額 246,200円 |

※ 報酬は、正職員に準じて変更されることがある。

- ※ 研究手当，当直手当，救急手当等を加えた年間平均月収は，
- | | |
|-----|--------------|
| 一年次 | 月額 約450,000円 |
| 二年次 | 月額 約600,000円 |

(2) 宿舎

住所 仙台市太白区あすと長町一丁目1番2号（当院に隣接した研修医宿舎棟）

宿舎料 1ヶ月15,000円（令和2年度）

部屋数 40室（全て単身者用）

その他 ・光熱水費は各自負担 ・敷地外に駐車場あり

申込は、研修医宿舎申込書で申し込む。希望者が空室数を超過する場合は、年次をはじめとする優先順位の高いものから入居させる。

(3) 社会保障体制

全国健康保険協会管掌健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険（雇用期間が2年目になった時点で地方公務員災害補償に切替）に加入する。

(4) 健康管理

労働安全衛生規則45条の定めに従い、同規則第13条第1項第2号に該当する特定業務従事者として、6ヶ月に1回の健康診断を受診する。

(5) 医療事故への対応

医療にかかる安全管理委員会が月1回程度開催され、院内で発生したインシデント・アクシデントの報告，医事紛争の進行状況の報告があり，総合的に対応を行う体制が整備されている。

医師賠償責任保険については、市立病院として加入しているが、個人については任意加入となる。

(6) 臨床病理検討会への参加

臨床病理検討会は9回（令和元年度実績）、剖検数は16回（同）実施されている。研修医の剖検症例報告が義務付けられているため、剖検検討会終了後に報告書作成の指導を行う。

症例報告を中心とした研究・学会活動において、病理組織・所見が必要な場合は、随時指導が行われる。

(7) 研修医の勤務時間、研修、当直、日直回数など

勤務は原則として午前8時30分より午後5時までである。研修については、夕方にカンファランスなどがある場合には、研修終了は午後7時前後になる場合がある。また、患者が重症あるいは急変などで夜間に呼び出される場合もある。

日直を月1～2回、当直を月3～4回程度行う。（大型連休・年末年始・年度末・年度始は増枠となる）日当直診療に際しては各科の指導医、又は指導医の指示のもと上級医が指導する。また、当直明けの勤務日については、8時30分までの勤務となる。

病院の休日は土日祝日で、有給休暇（1年次15日、2年次16日）のほか夏期休暇が与えられる。

(8) 外部の研修活動等

学会出張については、1年目から年1回の学会（講習会含む）出張の旅費を支給する。

上記の他、演題発表で、北海道を除く首都圏以北で開催される学会に出張する場合は、旅費が支給される。

17 その他

研修医の進路について、相談等の支援を行う。

18 本プログラムの問合せ先

仙台市立病院経営管理部総務課職員係

住 所 〒982-8502

仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号

電 話 022(308)7111（代表） 内線2118

FAX 022(308)7153

電子メール shokuin@hospital.city.sendai.jp

URL <http://hospital.city.sendai.jp/>

令和2年度

仙台市立病院 医師臨床研修プログラム 目標及び評価表

- 各診療科目の目標, 方略(方法)及び評価 P.1~19
- 仙台市立病院の臨床研修の到達目標(評価表)

病棟における研修医の研修状況（師長評価）

研修医氏名： _____

診療科： _____ 評価者： _____

評価年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

研修期間： _____ 年 _____ 月 _____ 日 ～ _____ 年 _____ 月 _____ 日

項目毎に評価点を記入して下さい。

a)十分できる（他の研修医を指導できる） : 3点

b)できる（目標水準の70%以上） : 2点

c)要努力 : 1点

評価項目	評価点
1. 医学的知識	()
2. 基本的臨床技能	
1) 診療録の記載	()
2) 症例呈示能力	()
3. チーム医療	
1) 指導医との連絡と相談	()
2) 看護師との意思の疎通	()
3) 後輩医師への指導	()
4) 患者・家族との意思の疎通	()
4. 基本的態度	
1) 積極性	()
2) 責任感・時間厳守	()

評価点合計 ()

5. コメント

研修医による研修診療科の評価

研修医氏名： _____

診療科： _____

評価年月日： 年 月 日

研修期間： 年 月 日 ～ 年 月 日

項目毎に評価点を記入して下さい。

- | | |
|--------------|------|
| a)満足できる | : 3点 |
| b)どちらかといえば満足 | : 2点 |
| c)不満足 | : 1点 |

評価項目	評価点
1) 医療面接・基本技術の指導	()
2) 考え方の指導	()
3) 研修意欲の高め方・研修医の状況の配慮	()
4) 指導を受けた医療の水準	()
5) 安全管理の指導	()
6) 休暇：休養できる時間や日数、当直明けへの配慮など	()
7) 経験症例：研修時期や期間から経験した症例数と種類	()
8) 経験手技・検査の数：経験した検査の数	()
9) 症例検討会・講習会などの教育体制	()
10) コメディカルからの協力	()

評価点合計 ()

11) よいと思われた点

12) 全体的コメント

研修医の研修状況総合評価

研修医氏名： _____

診療科： _____

評価年月日： 年 月 日

研修期間： 年 月 日 ～ 年 月 日

	コメント
1. 指導医よりの評価 ・ 行動・経験目標 ・ 研修態度など	
2. 病棟師長の評価 (師長から提出された評価を参考に記入してください。)	
3. 総合評価	
4. その他	
《参考》 研修医による評価・要望等	